

本庁共通  
(表紙)

平成26年度決算に係る

定期監査  
決算審査  
調査  
調書

平成27年7月

地域振興部 教育・学術振興課

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
(1)	指摘事項	
(2)	監査意見	
(3)	決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	決算調書(総括表)	8頁
8	事業別実施状況調べ	9頁
9	予備費の充用調べ	9頁
10	繰越関係調べ	9頁
(1)	継続費遞次繰越調べ	
(2)	繰越明許費調べ	
(3)	事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	10頁
12	収入事務処理状況調べ	10頁
(1)	分担金及び負担金	
(2)	使用料	
(3)	手数料	
(4)	財産収入	
(5)	寄付金	
(6)	諸収入	
(7)	現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	10頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10頁
15	税外収入不納欠損額調べ	10頁
16	債務負担行為の状況調べ	11頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	12頁
(1)	負担金	
(2)	補助金	
(2-2)	補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
(3)	交付金	
(4)	委託料	
(4-2)	委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
18	工事請負費調べ	21頁
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	21頁
19	財産に関する調べ	21頁
(1)	公有財産	
(2)	金券類の受払状況	
(3)	基金	22頁
(4)	債権	22頁
20	財産の貸付及び使用許可調べ	22頁
(1)	土地及び建物	
(2)	物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	
21	借受不動産明細調べ	22頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	22頁
(1)	職員住宅	
(2)	職員駐車場	
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	22頁
24	寄附物件の受納状況調べ	22頁
25	備品の処分状況調べ	22頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷額調べ	
27	貸付金等状況調べ	23頁
(1)	総括表	
(2)	償還状況	
○	意見、要望等	

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係（担当）名	課の主な所掌事務
教育・学術振興課	高等教育・学術振興担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内高等教育機関及び学術研究の振興に関すること</li> <li>・ 科学技術の振興に関すること</li> <li>・ 公立大学法人公立鳥取環境大学に関すること</li> </ul>
	私学振興担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立中学校、私立高等学校、私立専修学校及び私立各種学校に関すること</li> </ul>

4 職員の定員、現員調べ

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
		27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	
定 員		9	9	0	0	0	0	9	9	・事務職員に教員1 (H27) を含む。(H26 教員1)
現 員		(1) 10	(1) 10	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	(1) 10	(1) 10	・育休休業1 (H26.7.11~) ・環境大学からの派遣1 (H27.4.1~)
過不足(Δ)		1	1	0	0	0	0	1	1	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	0	0	0	0	1	1	一般事務1

5 役付職員の調べ

(平成27年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課 長	國米 洋一	1	3	
課長補佐	井手野孝広		3	
課長補佐	山本 直生	2		
課長補佐	頼田 慎		3	
課長補佐	田中 博幸	1	3	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																																																
<p>私立高等学校等教育振興補助金                      決算額                      1,810,566千円</p> <p>(財源内訳)                      国庫支出金                      235,530千円                      一般財源                      1,575,036千円</p> <p>○将来ビジョン                      VI育む                      (2)「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的                      私立学校の教育条件の維持向上及び保護者負担の軽減を図るとともに、学校経営の健全性を高め、特色ある取組を促進することを目的として、私立学校の運営費に対して助成を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>1 私立高等学校教育振興補助金 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助額</th> <th>実施校</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般分</td> <td>1,543,542</td> <td>8</td> <td>私立高等学校運営費(人件費、教育管理費及び設備費)に対する補助</td> </tr> <tr> <td>特別分</td> <td>18,234</td> <td>8</td> <td>舎監人件費、土曜日授業実施経費、教育用ICT機器等の整備、心豊かな学校づくりに対する補助</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,561,776</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 私立中学校教育振興補助金 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>補助額</th> <th>実施校</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般分</td> <td>147,939</td> <td>3</td> <td>私立中学校運営費(人件費、教育管理費及び設備費)に対する補助</td> </tr> <tr> <td>特別分</td> <td>3,032</td> <td>3</td> <td>土曜日授業実施経費、教育用ICT機器等の整備、心豊かな学校づくりに対する補助</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>150,971</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 私立専修学校教育振興補助金 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>補助額</th> <th>実施校</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般分</td> <td>11,600</td> <td>13</td> <td>私立専修学校の運営費(教育管理費)に対する補助</td> </tr> <tr> <td>特別分</td> <td>86,219</td> <td>4</td> <td>指定を受けた連携科目の授業を行う学科の運営費に対する補助</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>97,819</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点                      私立中学校・高等学校教育振興補助金について、土曜日授業の実施及びICT(情報通信技術)活用教育に対して新たに助成を行い、私立中学校・高等学校学力向上等を目的とした取組みを支援した。</p> <p>(改正の内容)                      ・学力向上等の目的のもと目標を定め土曜日授業を計画的に実施する場合に必要な人件費を除く経費を助成。                      ・各教科の授業改善等を目的に使用するため導入する教育用ICT機器等の整備に要する購入費又はリース料を助成。                      ・ICT教育の先進学校等への視察及びICT教育の研修への参加に係る旅費の助成。</p> <p>ウ 成果                      私立高等学校8校、中学校3校、専修学校17校における、教育条件の維持向上、保護者の負担軽減などが図られている。</p> <p>エ 課題                      引き続き、私学教育の充実と保護者負担の軽減を図っていくために、計画的な学校訪問を行うなどして各学校の実情を把握するとともに、適切な助言や情報提供による支援を行っていく必要がある。</p>	区分	補助額	実施校	事業概要	一般分	1,543,542	8	私立高等学校運営費(人件費、教育管理費及び設備費)に対する補助	特別分	18,234	8	舎監人件費、土曜日授業実施経費、教育用ICT機器等の整備、心豊かな学校づくりに対する補助	計	1,561,776			事業名	補助額	実施校	事業概要	一般分	147,939	3	私立中学校運営費(人件費、教育管理費及び設備費)に対する補助	特別分	3,032	3	土曜日授業実施経費、教育用ICT機器等の整備、心豊かな学校づくりに対する補助	計	150,971			事業名	補助額	実施校	事業概要	一般分	11,600	13	私立専修学校の運営費(教育管理費)に対する補助	特別分	86,219	4	指定を受けた連携科目の授業を行う学科の運営費に対する補助	計	97,819			
区分	補助額	実施校	事業概要																																															
一般分	1,543,542	8	私立高等学校運営費(人件費、教育管理費及び設備費)に対する補助																																															
特別分	18,234	8	舎監人件費、土曜日授業実施経費、教育用ICT機器等の整備、心豊かな学校づくりに対する補助																																															
計	1,561,776																																																	
事業名	補助額	実施校	事業概要																																															
一般分	147,939	3	私立中学校運営費(人件費、教育管理費及び設備費)に対する補助																																															
特別分	3,032	3	土曜日授業実施経費、教育用ICT機器等の整備、心豊かな学校づくりに対する補助																																															
計	150,971																																																	
事業名	補助額	実施校	事業概要																																															
一般分	11,600	13	私立専修学校の運営費(教育管理費)に対する補助																																															
特別分	86,219	4	指定を受けた連携科目の授業を行う学科の運営費に対する補助																																															
計	97,819																																																	

事業名	概	要																																
<p>○私立高等学校等就学支援金 決算額 466,132千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 436,381千円</p> <p>一般財源 29,751千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家庭の状況にかかわらず、全ての中学生、高校生等が安心して勉学に打ち込める環境を作るために、国において創設された「高等学校等就学支援金」及び県版の「中学校就学支援金」を生徒へ交付（学校設置者が代理受領）し、家庭の教育費負担の軽減、多様な教育を受ける機会の確保を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 1 高等学校等就学支援金（国庫10/10） ○平成25年度以前入学生（旧制度） ・私立高等学校（7校）、私立専修学校（高等課程）（6校）に通学する生徒に対し、年額118,800円を支給した。 ・低所得世帯については、収入に応じて助成額を上乗せした。（1.5～2倍） (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="422 645 1372 750"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>対象校</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,161人</td> <td>13校</td> <td>282,350</td> <td>うち、1.5倍上乗せ 173人 うち、2倍上乗せ 310人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成26年度以降入学生（新制度） ・低所得世帯の負担軽減及び公私間格差の是正のため、就学支援金の支給に所得制限基準（年収910万円程度）を設け、低所得者世帯については、収入に応じて支給額を上乗せ（1.5倍～2.5倍） (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="422 940 1372 1086"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>対象校</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,130人</td> <td>11校</td> <td>154,031</td> <td>うち、1.5倍上乗せ 300人 うち、2倍上乗せ 135人 うち、2.5倍上乗せ 169人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 中学校就学支援金（単県） 平成26年度から高等学校等就学支援金国庫制度の基準に合わせ、所得基準を引き上げた。（平成26年度入学生から対象） ○平成25年度以前入学生（旧制度） ・私立中学校に通学する生徒に対し、年額118,800円を支給した。 ・低所得世帯については、収入に応じて助成額を上乗せした。（1.5～2倍） (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="422 1344 1372 1451"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>対象校</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>107人</td> <td>2校</td> <td>13,886</td> <td>うち、1.5倍上乗せ 16人 うち、2倍上乗せ 14人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成26年度以降入学生（新制度） ・低所得世帯の負担軽減及び公私間格差の是正のため、就学支援金の支給に所得制限基準（年収910万円程度）を設け、低所得者世帯については、収入に応じて支給額を上乗せ（1.5倍～2.5倍）→授業料額が上限 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="422 1657 1372 1803"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>対象校</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99人</td> <td>3校</td> <td>15,865</td> <td>うち、1.5倍上乗せ 35人 うち、2倍上乗せ 10人 うち、2.5倍上乗せ 18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 高等学校等就学支援金の給付事務手続きの簡素化が図られるよう国に提案し、一部、学校設置者から生徒個人に対する通知を、学校が別途行っている徴収金のお知らせと兼ねることが認められるなど改善に取り組んだ。</p> <p>ウ 成果 私立高等学校（8校）、専修学校（高等課程）（6校）、私立中学校（3校）における、保護者の経済的負担軽減などが図られている。</p>	対象者数	対象校	金額	備考	2,161人	13校	282,350	うち、1.5倍上乗せ 173人 うち、2倍上乗せ 310人	対象者数	対象校	金額	備考	1,130人	11校	154,031	うち、1.5倍上乗せ 300人 うち、2倍上乗せ 135人 うち、2.5倍上乗せ 169人	対象者数	対象校	金額	備考	107人	2校	13,886	うち、1.5倍上乗せ 16人 うち、2倍上乗せ 14人	対象者数	対象校	金額	備考	99人	3校	15,865	うち、1.5倍上乗せ 35人 うち、2倍上乗せ 10人 うち、2.5倍上乗せ 18人	
対象者数	対象校	金額	備考																															
2,161人	13校	282,350	うち、1.5倍上乗せ 173人 うち、2倍上乗せ 310人																															
対象者数	対象校	金額	備考																															
1,130人	11校	154,031	うち、1.5倍上乗せ 300人 うち、2倍上乗せ 135人 うち、2.5倍上乗せ 169人																															
対象者数	対象校	金額	備考																															
107人	2校	13,886	うち、1.5倍上乗せ 16人 うち、2倍上乗せ 14人																															
対象者数	対象校	金額	備考																															
99人	3校	15,865	うち、1.5倍上乗せ 35人 うち、2倍上乗せ 10人 うち、2.5倍上乗せ 18人																															

事業名	概要																																	
	<p><b>エ 課題</b>            平成26年度の新入生から全員支給から所得制限により高所得世帯の生徒の支給がなくなるなど高等学校等就学支援金の制度が改正され、平成27年度まで新旧2制度が並立するため、生徒、学校、県が誤りなく円滑な事務を遂行できるよう努める必要がある。</p>																																	
<p>高等教育機関等支援事業            決算額            55,015千円            (財源内訳)            一般財源 645千円            その他 54,370千円</p> <p>○将来ビジョン            VI育む            (2)「人材・鳥取」の推進</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的            本県の環境その他の地域の課題解決に向けた施策の推進並びに個性豊かな地域社会の形成に資するために、県内の高等教育機関（鳥取環境大学、鳥取大学、岡山大学地球物質科学研究センター、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校）が取り組む環境その他の地域の課題に関する調査研究に対して助成を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況            1 助成対象の選考            平成26年度事業で助成する研究課題を選考するため、鳥取県環境学術研究等振興事業評価委員会を平成26年5月8日に開催し、56課題の応募に対して34課題を選定した。</p> <p>◇助成した研究</p> <table border="1" data-bbox="536 815 1310 1122"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>課題数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取環境大学</td> <td>6課題</td> <td>8,213千円</td> </tr> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>2.1課題</td> <td>32,435千円</td> </tr> <tr> <td>岡山大学（地球物質科学研究センター）</td> <td>1課題</td> <td>1,410千円</td> </tr> <tr> <td>鳥取短期大学</td> <td>1課題</td> <td>1,050千円</td> </tr> <tr> <td>米子工業高等専門学校</td> <td>5課題</td> <td>7,624千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34課題</td> <td>50,732千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇助成対象とした研究課題（例）</p> <table border="1" data-bbox="536 1167 1362 1525"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>研究課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取環境大学</td> <td>生ごみや小型家電のリサイクル推進策に関する研究</td> </tr> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>クロマグロ内蔵を利活用した腸管免疫を賦活化する新機能性食品素材の創出</td> </tr> <tr> <td>岡山大学（地球物質科学研究センター）</td> <td>総合地球物質解析システムを用いた温泉の起源と地下構造の解析</td> </tr> <tr> <td>鳥取短期大学</td> <td>鳥取県のスポーツ選手を対象とした栄養教育・栄養支援に関する研究</td> </tr> <tr> <td>米子工業高等専門学校</td> <td>地場産木材を用いた建築空間構造システムの開発</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 助成課題の研究成果のPR            平成25年度助成課題の研究成果については、平成26年9月26日、27日に開催された、とっとり産業フェスティバル2014で研究成果をポスター発表（パネル展示）し、広く県民にPRした。（発表課題数：37課題）</p> <p>3 研究成果の評価            平成25年度に研究が終了した助成課題について、自己評価、県の関係課、評価委員による評価を行い、各高等教育機関・研究者に提供する。（平成27年度に取りまとめ、提供する）</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点            特になし</p> <p>ウ 成果            県内高等教育機関が実施する環境その他の地域の課題に関する学術研究の推進を支援することができた。</p> <p><b>エ 課題</b>            引き続き、研究水準の向上及び研究成果の普及・活用の促進を図る必要がある。</p>	機関名	課題数	助成額	鳥取環境大学	6課題	8,213千円	鳥取大学	2.1課題	32,435千円	岡山大学（地球物質科学研究センター）	1課題	1,410千円	鳥取短期大学	1課題	1,050千円	米子工業高等専門学校	5課題	7,624千円	計	34課題	50,732千円	機関名	研究課題	鳥取環境大学	生ごみや小型家電のリサイクル推進策に関する研究	鳥取大学	クロマグロ内蔵を利活用した腸管免疫を賦活化する新機能性食品素材の創出	岡山大学（地球物質科学研究センター）	総合地球物質解析システムを用いた温泉の起源と地下構造の解析	鳥取短期大学	鳥取県のスポーツ選手を対象とした栄養教育・栄養支援に関する研究	米子工業高等専門学校	地場産木材を用いた建築空間構造システムの開発
機関名	課題数	助成額																																
鳥取環境大学	6課題	8,213千円																																
鳥取大学	2.1課題	32,435千円																																
岡山大学（地球物質科学研究センター）	1課題	1,410千円																																
鳥取短期大学	1課題	1,050千円																																
米子工業高等専門学校	5課題	7,624千円																																
計	34課題	50,732千円																																
機関名	研究課題																																	
鳥取環境大学	生ごみや小型家電のリサイクル推進策に関する研究																																	
鳥取大学	クロマグロ内蔵を利活用した腸管免疫を賦活化する新機能性食品素材の創出																																	
岡山大学（地球物質科学研究センター）	総合地球物質解析システムを用いた温泉の起源と地下構造の解析																																	
鳥取短期大学	鳥取県のスポーツ選手を対象とした栄養教育・栄養支援に関する研究																																	
米子工業高等専門学校	地場産木材を用いた建築空間構造システムの開発																																	

事業名	概	要																										
<p>○ 楽しむ科学まなび事業</p> <p>決算額 11,700千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 11,690千円 諸収入 10千円</p> <p>○ 将来ビジョン VI 育む (2) 「人材・鳥取」 の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 子どもたちに、身近な科学を体験・実感する、また、最先端の科学に触れるなどの機会を継続的に提供するとともに、興味関心の度合いや成長段階に応じた施策を講じることにより、科学的思考力を高め、次代を担う人材を育成する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【「とっとりサイエンスワールド2014～美しい数学・楽しい算数～」の開催】</p> <table border="1" data-bbox="544 421 1369 689"> <tr> <td>開催日</td> <td>平成26年8月2日(土)、8月31日(日)、9月21日(日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>米子市文化ホール、とりぎん文化会館、倉吉未来中心</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>約3,000名(主に小中学生)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>鳥取県数学教育会(算数・数学関係の学校・大学教員などで組織)に委託し、科学の基礎となる算数・数学をテーマに体験型ワークショップなど親子で楽しみながら学べるイベントを県内3カ所で開催した。〔「クイズラリー」「ハノイの塔」などのワークショップ、算数・数学コンクールほか〕</td> </tr> </table> <p>【科学教育振興事業】(科学教室等の開催支援)</p> <table border="1" data-bbox="544 734 1369 1061"> <tr> <td>開催日</td> <td>平成26年8月～平成27年2月に15回 (小学生向け3回、中学生向け12回)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>東部、中部、西部</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>約1,800名(主に小学生と保護者)、約270名(主に中学生)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>わかとり科学技術育成会(理科関係の学校・大学教員、NPOなどで組織)に委託し、児童生徒が科学の楽しさを身近に体験し実感できるイベントを県内3カ所で開催した〔「LEDを光らせてみよう」「手づくり顕微鏡」ほか〕。平成24年度から中学生向けのやや高度な実験教室も実施〔「フライドチキンの解剖学」ほか〕</td> </tr> </table> <p>【「楽しむ科学教室」の開催】</p> <table border="1" data-bbox="544 1115 1369 1406"> <tr> <td>開催日</td> <td>平成26年12月13日(土)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>米子コンベンションセンター</td> </tr> <tr> <td>題目</td> <td>細胞たちの「自分探し」～臓器ができる仕組みを探る～</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>約50名(高校生、大学生ほか)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>(財)平成基礎科学財団(理事長：ノーベル物理学賞受賞者小柴昌俊東京大学特別名誉教授)へ負担金(賛助会費)を支払うことにより、同財団が主催する最先端の科学講座を県内で開催した。平成26年度は京都大学再生医科学研究所の瀬原教授を講師に、細胞、再生医学の研究に関する科学教室を実施した。</td> </tr> </table> <p>イ 平成26年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 各事業とも多くの参加者が得られ、身近な科学から最先端の研究まで、科学に触れる機会を通して、科学に対する子どもたちの興味関心を喚起することができた。また、事業を継続する中で、鳥取県数学教育会やわかとり科学技術育成会など実施団体にノウハウが蓄積され、人材ネットワークが強まってきた。</p> <p>エ 課題 関係者のネットワークの活用や地域や学校との連携をさらに広げ、各事業をより効果的に実施することが必要である。</p>	開催日	平成26年8月2日(土)、8月31日(日)、9月21日(日)	開催場所	米子市文化ホール、とりぎん文化会館、倉吉未来中心	来場者数	約3,000名(主に小中学生)	内容	鳥取県数学教育会(算数・数学関係の学校・大学教員などで組織)に委託し、科学の基礎となる算数・数学をテーマに体験型ワークショップなど親子で楽しみながら学べるイベントを県内3カ所で開催した。〔「クイズラリー」「ハノイの塔」などのワークショップ、算数・数学コンクールほか〕	開催日	平成26年8月～平成27年2月に15回 (小学生向け3回、中学生向け12回)	開催場所	東部、中部、西部	参加者数	約1,800名(主に小学生と保護者)、約270名(主に中学生)	内容	わかとり科学技術育成会(理科関係の学校・大学教員、NPOなどで組織)に委託し、児童生徒が科学の楽しさを身近に体験し実感できるイベントを県内3カ所で開催した〔「LEDを光らせてみよう」「手づくり顕微鏡」ほか〕。平成24年度から中学生向けのやや高度な実験教室も実施〔「フライドチキンの解剖学」ほか〕	開催日	平成26年12月13日(土)	開催場所	米子コンベンションセンター	題目	細胞たちの「自分探し」～臓器ができる仕組みを探る～	受講者数	約50名(高校生、大学生ほか)	内容	(財)平成基礎科学財団(理事長：ノーベル物理学賞受賞者小柴昌俊東京大学特別名誉教授)へ負担金(賛助会費)を支払うことにより、同財団が主催する最先端の科学講座を県内で開催した。平成26年度は京都大学再生医科学研究所の瀬原教授を講師に、細胞、再生医学の研究に関する科学教室を実施した。	
開催日	平成26年8月2日(土)、8月31日(日)、9月21日(日)																											
開催場所	米子市文化ホール、とりぎん文化会館、倉吉未来中心																											
来場者数	約3,000名(主に小中学生)																											
内容	鳥取県数学教育会(算数・数学関係の学校・大学教員などで組織)に委託し、科学の基礎となる算数・数学をテーマに体験型ワークショップなど親子で楽しみながら学べるイベントを県内3カ所で開催した。〔「クイズラリー」「ハノイの塔」などのワークショップ、算数・数学コンクールほか〕																											
開催日	平成26年8月～平成27年2月に15回 (小学生向け3回、中学生向け12回)																											
開催場所	東部、中部、西部																											
参加者数	約1,800名(主に小学生と保護者)、約270名(主に中学生)																											
内容	わかとり科学技術育成会(理科関係の学校・大学教員、NPOなどで組織)に委託し、児童生徒が科学の楽しさを身近に体験し実感できるイベントを県内3カ所で開催した〔「LEDを光らせてみよう」「手づくり顕微鏡」ほか〕。平成24年度から中学生向けのやや高度な実験教室も実施〔「フライドチキンの解剖学」ほか〕																											
開催日	平成26年12月13日(土)																											
開催場所	米子コンベンションセンター																											
題目	細胞たちの「自分探し」～臓器ができる仕組みを探る～																											
受講者数	約50名(高校生、大学生ほか)																											
内容	(財)平成基礎科学財団(理事長：ノーベル物理学賞受賞者小柴昌俊東京大学特別名誉教授)へ負担金(賛助会費)を支払うことにより、同財団が主催する最先端の科学講座を県内で開催した。平成26年度は京都大学再生医科学研究所の瀬原教授を講師に、細胞、再生医学の研究に関する科学教室を実施した。																											
<p>× 未来に役立つ「ものづくり教育」実践事業</p> <p>決算額 4,643千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 次代の地域産業を担う「ものづくり人材」を育成するため、企業、大学、行政で構成される「ものづくり協力会議」の取り組みである子どもから大人までの一貫型「ものづくり教育」の実践活動を支援する。</p>																											

事業名	概	要																								
(財源内訳) 一般財源 4,643千円	(イ) 事業の実施状況  <b>【ファブラボとっとりキックオフシンポジウムの開催事業(委託)】</b> <table border="1" data-bbox="549 255 1378 618"> <tr> <td>開催日</td> <td>平成26年5月17日(土)、18日(日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>鳥取市文化センター</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>560名</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>           ファブラボととりの開設をPRするためのイベントを実施した。            ①基調講演:「ウェブ社会からファブ社会へ」            ファブラボジャパン発起人田中浩也慶大准教授            ②パネルディスカッション:            「これからのものづくりに期待すること」            ③見学ツアー            ④子ども向け手づくりまつり            ⑤ワークショップほか         </td> </tr> </table> <b>【未来に役立つ「ものづくり教育」実践事業モデル研修事業の開催(委託)】</b> <table border="1" data-bbox="549 667 1378 1030"> <tr> <td>開催日</td> <td>平成26年①8/5、6[高校生の部] 8/7、8[中学生の部] ②8/11[中・高生合同 大学、ファブラボ、企業見学]</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>鳥取大学、ファブラボとっとり、エプソンリペア株式会社</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>20名[高校生]、22名[中学生]</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>           ①ものづくり研修            ・新しいものづくり文化(3Dプリンタ、クラウドファンディング)の紹介            ・3Dプリンタの仕組みと原理を理解            ・レゴブロック教育キットによりプログラムで自動的に文字や図形を描く「ドローイングロボット」を製作・発表            ②大学・ファブラボ、企業見学            現場訪問により「ものづくり」の実際を体感         </td> </tr> </table> <b>【ものづくり道場支援事業】</b> <b>○ものづくり道場指導者養成講座の開催実績</b> <table border="1" data-bbox="549 1115 1378 1366"> <tr> <td>開催数</td> <td>3回(3箇所各1回)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>東部、中部、西部</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>56名(延べ99名)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>           子どもたちに科学やものづくりの楽しさを学ぶ機会を広く提供することが出来るよう、「ものづくり協力会議」(鳥取大学が中心となって構成する産学官連携組織)に助成し、子どもへの実地指導を含む講座を実施するなどものづくり指導者の養成の取組を行った。23年度から実施。         </td> </tr> </table> <b>○ファブラボ利用者向け講習会の開催実績(新規)</b> ファブラボにおいて、各種講習会を開催し、施設利用の拡大を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入会事前講習会(37回開催、177人参加)</li> <li>・刺しゅう操作基礎講習会(13回開催、23人参加)</li> <li>・カッティングマシン・レーザー加工機操作基礎講習会(14回開催、38人参加)</li> <li>・3Dプリンタ操作基礎講習会(12回、30人参加)</li> <li>・その他講習会(1回、4人参加)</li> </ul> イ 平成26年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし  ウ 成果 ファブラボととりの設置に続き、平成27年度にBYヨシダ(倉吉市)、ぶんぶん堂(米子市)の協力により、ファブラボとっとりmid、westを開設することができ、ものづくり教育実践の日常的拠点を全県的に確保する道筋ができた。		開催日	平成26年5月17日(土)、18日(日)	開催場所	鳥取市文化センター	参加者数	560名	内容	ファブラボととりの開設をPRするためのイベントを実施した。 ①基調講演:「ウェブ社会からファブ社会へ」 ファブラボジャパン発起人田中浩也慶大准教授 ②パネルディスカッション: 「これからのものづくりに期待すること」 ③見学ツアー ④子ども向け手づくりまつり ⑤ワークショップほか	開催日	平成26年①8/5、6[高校生の部] 8/7、8[中学生の部] ②8/11[中・高生合同 大学、ファブラボ、企業見学]	開催場所	鳥取大学、ファブラボとっとり、エプソンリペア株式会社	来場者数	20名[高校生]、22名[中学生]	内容	①ものづくり研修 ・新しいものづくり文化(3Dプリンタ、クラウドファンディング)の紹介 ・3Dプリンタの仕組みと原理を理解 ・レゴブロック教育キットによりプログラムで自動的に文字や図形を描く「ドローイングロボット」を製作・発表 ②大学・ファブラボ、企業見学 現場訪問により「ものづくり」の実際を体感	開催数	3回(3箇所各1回)	開催場所	東部、中部、西部	受講者数	56名(延べ99名)	内容	子どもたちに科学やものづくりの楽しさを学ぶ機会を広く提供することが出来るよう、「ものづくり協力会議」(鳥取大学が中心となって構成する産学官連携組織)に助成し、子どもへの実地指導を含む講座を実施するなどものづくり指導者の養成の取組を行った。23年度から実施。
開催日	平成26年5月17日(土)、18日(日)																									
開催場所	鳥取市文化センター																									
参加者数	560名																									
内容	ファブラボととりの開設をPRするためのイベントを実施した。 ①基調講演:「ウェブ社会からファブ社会へ」 ファブラボジャパン発起人田中浩也慶大准教授 ②パネルディスカッション: 「これからのものづくりに期待すること」 ③見学ツアー ④子ども向け手づくりまつり ⑤ワークショップほか																									
開催日	平成26年①8/5、6[高校生の部] 8/7、8[中学生の部] ②8/11[中・高生合同 大学、ファブラボ、企業見学]																									
開催場所	鳥取大学、ファブラボとっとり、エプソンリペア株式会社																									
来場者数	20名[高校生]、22名[中学生]																									
内容	①ものづくり研修 ・新しいものづくり文化(3Dプリンタ、クラウドファンディング)の紹介 ・3Dプリンタの仕組みと原理を理解 ・レゴブロック教育キットによりプログラムで自動的に文字や図形を描く「ドローイングロボット」を製作・発表 ②大学・ファブラボ、企業見学 現場訪問により「ものづくり」の実際を体感																									
開催数	3回(3箇所各1回)																									
開催場所	東部、中部、西部																									
受講者数	56名(延べ99名)																									
内容	子どもたちに科学やものづくりの楽しさを学ぶ機会を広く提供することが出来るよう、「ものづくり協力会議」(鳥取大学が中心となって構成する産学官連携組織)に助成し、子どもへの実地指導を含む講座を実施するなどものづくり指導者の養成の取組を行った。23年度から実施。																									
○将来ビジョン VI 育む (2)「人材・鳥取」 の推進	エ 課題 ファブラボとっとり、ファブラボとっとりmid、ファブラボとっとりwestを継続的に運営する方法を検討する必要がある。																									



事業名	概要																								
<p>公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金</p> <p>決算額 463,681千円 (財源内訳) 一般財源 463,681千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 公立大学法人鳥取環境大学の運営に必要な経費の一部について、運営費交付金として交付する(県、鳥取市折半)。 【根拠法令】地方独立行政法人法第42条 設立団体は、地方独立行政法人に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額の全部または一部に相当する金額を交付することができる。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 鳥取環境大学の運営費に必要な経費を大学の事業実施にあわせ4半期毎に交付した。</p> <p>イ 平成26年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 大学の運営に要する経費を設立団体である県と市が支援。県・市が指示した中期目標に従って、大学は6年間の中期計画と具体的な年度計画を策定、より魅力的な大学を目指して教育研究や就職、学生生活などに関する様々な取り組みを推進めた。その結果、大学においても、26年度末卒業生の就職内定率が93.0%(昨年度92.6%)、入学者は定員を超える297人(志願倍率5.6倍)など着実な成果を出した。</p> <p>過去5年間の募集人員、志願者(倍率)、入学者の推移(※24年度から公立化)</p> <table border="1" data-bbox="475 891 1417 1025"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集人員</td> <td colspan="5">276名</td> </tr> <tr> <td>志願者数(倍率)</td> <td>460名(1.7倍)</td> <td>2,753名(10.0倍)</td> <td>1,003名(3.6倍)</td> <td>2,229名(8.1倍)</td> <td>1,544名(5.6倍)</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td>223名</td> <td>296名</td> <td>295名</td> <td>332名</td> <td>297名</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 課題 引き続き、大学の運営費に必要な経費を交付していくとともに、更に魅力的な大学づくりを進めるため、大学や共同設立団体である鳥取市と連携を深めながら、鳥取県・鳥取市が示した中期目標に定める課題に取り組んでいく必要がある。</p>	入学年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	募集人員	276名					志願者数(倍率)	460名(1.7倍)	2,753名(10.0倍)	1,003名(3.6倍)	2,229名(8.1倍)	1,544名(5.6倍)	入学者数	223名	296名	295名	332名	297名
入学年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度																				
募集人員	276名																								
志願者数(倍率)	460名(1.7倍)	2,753名(10.0倍)	1,003名(3.6倍)	2,229名(8.1倍)	1,544名(5.6倍)																				
入学者数	223名	296名	295名	332名	297名																				
<p>鳥取県フリースクール連携推進事業補助金</p> <p>決算額 120千円 (財源内訳) 一般財源 120千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 小中学校の不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等の相談指導について、民間(私立学校やNPO等)のノウハウを活用しながら児童生徒、保護者のニーズに応え選択肢を提供するフリースクールを支援することにより、児童生徒の学校復帰や社会的自立の促進を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 フリースクール1校に補助 (特定非営利活動法人地域スポーツ推進協会 ちゃれすくーる) 〔県教育委員会が策定した出席扱い(出席認定)となるフリースクールの要件を定めたガイドライン(鳥取県版の「民間適応指導教室(フリースクールガイドライン)」)を基に補助対象を決定〕</p> <p>イ 平成26年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 なし(平成26年度新規事業)</p> <p>ウ 成果 経営基盤の弱いフリースクールへの支援を制度化でき、かつ、出席扱いとなる基準を明確にすることにより、児童生徒や保護者の選択肢が広がった。</p> <p>エ 課題 鳥取県版のガイドラインの策定が遅れ、補助対象期間が限られてしまった。今後、県教育委員会との連携を図りながら、市町村教育委員会や小中学校への一層の周知を図る。</p>																								

7 決算調書  
(総括表)  
一般会計

(単位:円)

区分	科目	予算		現額		計	決算額	決算額の内訳		翌年度 繰越額	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及 繰越事業 繰越額	予支及 繰越額			備出 増減	A			
	私立学校振興費	2,549,035,000	△ 51,303,000	0	0	2,497,732,000	2,436,011,275	2,436,011,275	0	0	61,720,725	
	計画調査費	562,859,000	△ 12,872,000	0	0	549,987,000	536,512,375	536,512,375	0	0	13,474,625	
						0	0	0			0	
						0	0	0			0	
						0	0	0			0	
						0	0	0			0	
	合計	3,111,894,000	△ 64,175,000	0	0	3,047,719,000	2,972,523,650	2,972,523,650	0	0	75,195,350	
同	総務費国庫補助金	669,435,000	△ 54,216,000	0	0	615,219,000	673,753,250	673,753,250	0	0	△ 58,534,250	
上	利子及び配当金	53,900,000	0	0	0	53,900,000	53,872,324	53,872,324	0	0	27,676	
財	授業料減免・奨学金	9,035,000	0	0	0	9,035,000	8,425,000	8,425,000	0	0	610,000	
源	等基金繰入金	450,000	0	0	0	450,000	0	0	0	0	450,000	
内	私立学校振興共済受 託事業取入	10,000	0	0	0	10,000	371,091	371,091	0	0	△ 361,091	
記	雑入					0	0	0			0	
						0	0	0			0	
	小計	782,830,000	△ 54,216,000	0	0	678,614,000	736,421,665	736,421,665	0	0	△ 57,807,665	
	一般県費充当	2,379,064,000	△ 9,959,000	0	0	2,369,105,000	2,236,101,985	2,236,101,985	0	0	133,003,015	
	合計	3,111,894,000	△ 64,175,000	0	0	3,047,719,000	2,972,523,650	2,972,523,650	0	0	75,195,350	

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(私立学校振興費)					
私立高等学校等特別支援教育サポート事業	4,438,000	1,155,877	0	3,282,123	私立高等学校等が実施した、LD(学習障がい)、ADHD(多動性障がい)等の生徒、特別な配慮が必要な生徒に対する学習環境整備及び特別支援教育に係る担当教員の人件費の一部に対して助成を行った。
(主)私立高等学校等就学支援金	468,997,000	467,551,933	0	1,445,067	(〔6 主な事業〕に記載)
私学共済事業等助成事業	107,330,000	105,424,237	0	1,905,763	私学関係団体が実施する研修事業及び共済事業等に対して助成を行った。
私立学校審議会費	1,201,000	621,970	0	579,030	私立学校に対する許認可などの審議を行うため、私立学校審議会を開催した。(開催実績:8回)
学校法人等連絡調整費	1,002,000	677,026	0	324,974	学校法人、私立学校との連絡調整、優良卒業生の表彰等を行った。
(主)私立学校教育振興補助金	1,857,191,000	1,810,567,795	0	46,623,205	(〔6 主な事業〕に記載)
私立学校生徒授業料等減免補助金	34,022,000	31,140,400	0	2,881,600	私立中・高等学校等生徒について、経済的理由による授業料等の減免を行う学校設置者に対して助成を行った。
いじめ問題対策事業(私立学校)	1,760,000	1,508,870	0	251,130	いじめ問題について、学級満足度などを把握する心理検査(hyper-QQ)を実施する学校設置者に対し助成を行うとともに、私立学校担当者向けの研修会を実施した。
私立学校施設整備費補助金	17,316,000	17,235,920	0	80,080	私立高等学校の耐震化を促進するため、私立高等学校の耐震補強工事費等について助成を行った。
(主)フリースクール連携推進事業	9,089,000	127,247	0	8,961,753	(〔6 主な事業〕に記載)
私立学校振興費計	2,502,346,000	2,436,011,275	0	66,334,725	
(計画調査費)				0	
ジュニア郷土研究応援事業	784,000	776,647	0	7,353	県内児童生徒の地域研究・地域地図の作品の発表・展示会を開催した。併せて人文社会学者の記念講演を実施し、約200名が来場した。
(主)高等教育機関等支援事業	56,038,000	55,601,801	0	436,199	(〔6 主な事業〕に記載)
(主)楽しむ科学まなび事業	11,858,000	11,699,675	0	158,325	(〔6 主な事業〕に記載)
(主)公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金	476,319,000	463,681,192	0	12,637,808	(〔6 主な事業〕に記載)
新生公立鳥取環境大学運営協議会運営事業	345,000	194,669	0	150,331	設立団体である県と市が、運営協議会により共同して、大学財務諸表や利益処分の承認、評価委員会による年度計画の実績評価、運営費交付金の予算化など大学の運営に必要な指導・支援を実施した。
(主)未来に役立つ「ものづくり教育」実践事業	4,643,000	4,558,391	0	84,609	(〔6 主な事業〕に記載)
計画調査費計	549,987,000	536,512,375	0	13,474,625	
合計	3,052,333,000	2,972,523,650	0	79,809,350	

9 予備費の充当調べ 該当なし

- 10 繰越関係調べ
- (1)継続費運次繰越調べ 該当なし
  - (2)繰越明許費調べ 該当なし
  - (3)事故繰越調べ 該当なし

- 11 収入証紙取扱額調べ
- 12 収入事務処理状況調べ
  - (1) 分担金及び負担金
  - (2) 使用料
  - (3) 手数料
  - (4) 財産収入

該当なし  
 該当なし  
 該当なし  
 該当なし

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
利子及び配当金			35	53,872,324	53,872,324	0	0	鳥取県基金条例 (鳥取県環境学術研究基金)	
		計(節)	35	53,872,324	53,872,324	0	0		
	本庁執行分計(目)		35	53,872,324	53,872,324	0	0		
	出納機関執行分計(目)		0	0	0	0	0		
	目計		35	53,872,324	53,872,324	0	0		
	合計		35	53,872,324	53,872,324	0	0		

- (5) 寄付金
- (6) 諸収入

該当なし

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入		平成26年度日本私立学校振興・共済事業団事務委嘱費	2	361,000	361,000	0	0		
		楽しむ科学まなび事業(非常勤職員雇用保険本人負担分)	1	10,091	10,091	0	0		
	本庁執行分計(目)		3	0	371,091	0	0		
	出納機関執行分計(目)								
	目計			0	371,091	0	0		
	合計			0	371,091	0	0		

- (7) 現金の取扱状況
- 13 収入未済額調べ
- 14 未収金回収促進のための取組状況調べ
- 15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし  
 該当なし  
 該当なし  
 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況		当該事業の 契約額等	執行(支出)状況				備考		
		議決 (証・当初の別)	期間		限度額	設定年度の 執行額 A	債務負担行為の期間			合計 A+B	
							25年度まで の執行額	26年度 執行額			27年度以降 の執行予定 額
私立学校振興 資金利子補給 補助金	利子 補給	平成22年 3月(当 初)及び 平成22年 6月	平成23年 度から平 成28年 度	円 9,384,000	円 351,493	円 3,001,213	円 821,583	円 0	円 3,822,796	円 4,174,289	上限 1%
		平成23年 3月(当 初)	平成24年 度から平 成29年 度	円 2,337,000	円 0	円 0	円 0	円 2,337,000	円 2,337,000	円 2,337,000	
		平成25年 3月(当 初)	平成25年 度から平 成34年 度	円 11,406,000	円 98,630	円 502,736	円 442,517	円 2,573,001	円 3,518,254	円 3,616,884	
		平成25年 9月	平成26年 度から平 成35年 度	円 46,554,000	円 2,897,769	円 0	円 4,887,220	円 32,260,128	円 37,147,348	円 40,045,117	
合 計				円 69,681,000	円 3,347,892	円 3,503,949	円 6,151,320	円 37,170,129	円 46,825,398	円 50,173,290	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ  
 (1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備 考
私立学校振興費									
新規以外のもの							150,000		
本庁執行分計							150,000		
出納機関執行分計									
目 計							150,000		
計画調査費									
新規以外のもの							814,669		
本庁執行分計							814,669		
出納機関執行分計									
目 計							814,669		
合 計							964,669		

(2) 補助金  
 予算科目 (私立学校振興費)  
 ① 国 補 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	補助対象経費	実施計画承認	着手	額の確定	支出の状況			備考
			又は内示年月日	年月日	年月日	概算	支出	金額	
事業の内容		補助率及び補助金額	交付申請	完了	検査	私	年月日		
			年月日	年月日	年月日	算			
			交付決定	実績報告	審査・現地	算			
			年月日	年月日	調査年月日	別の別			
私立学校(高等学校)教育振興補助金	学校法人鳥取家政学園外6法人	2,664,938,037	—	—	H27.5.13	概算	H26.6.24	618,287,000	
運営費に対する補助		(補助率：定額 ※完成年度に至っていない鶏鳴は、当該年度対象経費決算額の1/2)	(H26.5.30外)	—	—		H26.9.26	309,142,000	
			H27.2.20外	—	—		H26.12.5	463,715,000	
			(H26.6.17)	H27.4.10	H27.4.16		H27.3.20	166,133,452	
			H27.3.2	外	外		H27.5.20	△304,466	
		1,554,696,570					H27.5.25	△2,276,416	
心豊かな学校づくり推進事業補助金	学校法人鳥取家政学園外6法人	17,529,713	—	—	H27.5.19	精算			
特色ある教育活動等に対する補助		(補助率：3/4)	H27.3.5外	—	—		H27.5.25	9,480,484	
		9,480,484	H27.3.20	H27.3.31	H27.4.16				
			外	外	外				
私立高等学校等生徒授業料等減免補助金	学校法人鳥取家政学園外8法人等	31,140,400	—	—	H27.5.8	概算	H26.6.13	6,491,000	
経済的理由による授業料減免事業に対する補助		(補助率：定額)	(H26.5.7外)	—	—		H26.9.12	8,218,000	
		31,140,400	H27.3.3外	—	—		H26.12.5	8,218,000	
			(H2.6.3)	H27.3.16	H27.4.16		H27.3.18	8,213,400	
			H27.3.12外	外	外				
私立学校(中学校)教育振興補助金	学校法人翔英学園外2法人	267,372,644	—	—	H27.5.13	概算	H26.6.24	59,763,000	
運営費に対する補助		(補助率：定額 ※完成年度に至っていない鶏鳴は、当該年度対象経費決算額の1/2)	(H26.6.2外)	—	—		H26.9.30	30,240,000	
		148,570,860	H27.2.2	—	—		H26.12.5	45,001,000	
			(H26.6.17外)	H27.4.9	H27.4.16		H27.3.20	15,066,414	
			H27.2.19	外	外		H27.5.25	△1,499,554	
高等学校等就学支援金	学校法人鳥取家政学園外12法人等	436,381,450	—	—	H27.4.20	概算	H26.5.9	107,863,500	
私立高等学校等の生徒の授業料に対する補助		(補助率：定額)	(H26.4.11外)	—	—		外	H26.5.13	
		436,381,450	H26.7.4外	—	—		H26.5.20	2,108,700	
			(H26.4.28外)	H27.3.19	H27.4.16		H26.5.30	148,500	
			H26.7.8外	外	外		H26.7.18	440,700	
							H26.7.25	39,360,050	
							H26.8.8	43,745,700	
							H26.8.15	25,820,850	
							H26.9.4	163,350	
							H26.10.10	109,781,700	
							H27.1.23	109,781,700	
							H27.3.18	306,900	
							H27.4.27	△323,000	
							H27.5.1	△692,650	
							H27.5.14	△1,245,250	
							H27.5.15	△938,700	

補助金等の名称	交付先	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 私、精 算私 の別	支出 年月日	金額	
事業の内	間 接	補助率及 補助金額	交付決定 年月日	実績報 年月日	審査・現 調査年月				
特別支援教育サポート事業補助金 (平成20年度)	学校法人矢谷学園外	2,311,755	—	—	H27.5.20 外	精算	H27.5.25	1,155,877	
私立学校の特別な配慮が必要な生徒に対する学習環境整備等に対する補助	2法人	(補助率:1/2, 1/3) 1,155,877	H26.7.15外	—	—				
		H26.8.8	H27.3.27 外	H27.4.27 外					
高等学校等就学支援金事務費交付金	学校法人鳥取家政学園外6	1,480,702	—	—	H27.5.12	概算	H26.12.16	1,312,000	
高等学校等就学支援金の支給に係る事務費に対する補助	法人	(補助率:定額) 1,312,000	H26.10.23外	—	—				
私立高等学校等大規模修繕等促進事業補助金	学校法人翔英学園	33,109,052	—	H26.7.25	H27.2.13 外	精算	H27.2.20	11,036,000	
			(H26.7.9) H26.9.18	H26.10.8	H26.12.8				
老朽化した学校施設の修繕又は耐震改修に対する補助		(補助率:1/3) 11,036,000	(H26.7.29) H26.10.1	H26. 11.12	H26.12.8				
本庁執行分計								2,193,773,641	
地方機関執行分計								0	
国補分計								2,193,773,641	



② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 払、精 算払 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容		補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
私立学校(専修学校)教育振興補助金 (昭和52年度) 運営費に対する補助	専門学校米子 女学園 外13 法人等	322,795,772		—	H27.5.11 外	概算	H26.8.22 H27.2.27 H27.5.22	96,353,000 1,818,853 △351,972	
		(補助率:定額)	(H26.7.2外) H27.1.23外	—	—				
		97,819,881	(H26.8.15) H27.2.19	H27.4.6 外	H27.4.20 外				
私立学校協会補助金 (昭和36年度)	一般社 団法人 鳥取県 私立学 校協会	4,218,717	—	—	H27.5.27	概算	H26.6.26	1,870,000	
		(補助率:1/2)	H26.6.2	—	—				
私立学校の研修事業 等に対する補助		1,870,000	H26.6.18	H27.4.9	H27.5.12				
日本私立学校振興・ 共済事業団補助金 (昭和35年度)	日本私 立学校 振興・ 共済事 業団	1,556,854,000	—	—	H27.5.18	精算	H27.5.22	12,379,840	
		(補助率:8/1000)	(H27.1.8) H27.3.31	—	—				
		12,379,840	(H27.1.20) H27.3.31	H27.4.7	H27.5.13				
長期給付掛金の一部 に対する補助									
私立学校教職員退職 金給付財源補助金 (昭和43年度)	一般社 団法人 鳥取県 私学 振興会	2,519,780,000	—	—	H27.5.18	精算	H27.5.22	90,712,080	
		(補助率:36/1000)	H26.6.4	—	—				
		90,712,080	H26.6.19	H27.4.10	H27.5.8				
退職金積立ての一部 に対する補助									

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 払、精 算払 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容		補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
私立学校経営相談事業補助金 (昭和62年度)	一般社団法人鳥取県私学振興会	924,634	—	—	H27.5.13	概算	H26.6.23 H27.5.20	530,000 △67,683	
経営相談事業に対する補助		(補助率：1/2) 462,317	H26.6.5	—	—				
私立学校振興資金利子補給補助金 (平成11年度)	学校法人翔英学園外3法人	12,347,147	—	—	H27.5.18	精算	H27.5.22	6,151,320	
借入金返済利息の一部に対する補助		(補助率：定額) 6,151,320	H24.3.5外	—	—				
私立中学校就学支援金 (平成22年度)	学校法人翔英学園外1法人	29,751,450	—	—	H27.5.11	概算	H26.5.30 H26.8.29 H26.10.10 H27.3.12 H27.3.18	7,638,900 7,329,600 7,339,500 7,339,500 103,950	
私立中学校の生徒授業料に対する補助		(補助率：定額) 29,751,450	(H26.4.22外) H27.3.9外	—	—				
鳥取県私立高等学校等hyper-QU実施事業補助金 (平成25年度)	学校法人鳥取家政学園外7法人	2,796,900	—	—	H26.12.1外	精算	H26.12.9 H26.12.19 H26.12.22 H27.1.15 H27.1.15 H27.1.15 H27.2.3 H27.2.24	114,870 130,160 306,280 28,480 114,660 324,220 66,220 313,560	
いじめ問題に関し学級満足度などを把握する心理検査(hyper-QU)を実施する学校設置者への助成		(補助率：1/2) 1,398,450	H26.5.7外	—	—				
鳥取県フリースクール連携推進事業補助金 (平成26年度)	特定非営利活動法人地域スポーツ推進協会	528,399	—	—	H27.5.19	精算	H27.5.25	120,227	新規
小中学校の不登校児童・生徒の集団生活への適応等の相談・指導を行うフリースクールを運営する事業への助成		(補助率：1/2) 120,227	H27.2.19	—	—				
本庁執行分計								240,665,565	
地方機関執行分計									
単県分計								240,665,565	

予算科目 (計画調査費)

- ①国補分 なし
- ②単県分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日	金額	
鳥取県環境学術研究 等振興事業費補助金 (平成13年度)	鳥取大学 他4法人	50,732,081	H26.5.16外 (内示)	_____	H27.5.14	概算	H26.6.20 H26.6.30 H27.5.20	49,590,000 1,410,000 △267,919	
		(補助率:定額)	(H25.5.27外)	H27.3.31	_____				
県内大学等が行う学 術研究の支援		50,732,081	H26.11.27 (H26.6.11)	H27.4.16	H27.5.8				
乾燥地研究情報発信 事業補助金 (平成13年度)	とっとり乾 地研倶楽部	760,000	_____	_____	H27.5.19	概算	H26.9.5	380,000	
		(補助率:定額)	H26.8.20	_____	_____				
乾地研を支援する団 体が行う乾燥地研究 情報発信事業の支援		380,000	H26.8.28	H27.3.31	H27.4.27				
ものづくり道場支援 事業補助金 (平成23年度)	ものづく り協力会議	1,078,000	_____	_____	H27.5.22	概算	H26.5.30	1,078,000	
		(補助率:定額)	H26.5.21	H27.3.31	_____				
ものづくり指導者の 養成の取組を支援		1,078,000	H26.5.22	H27.4.30	H27.5.14				
公立大学法人鳥取環 境大学施設整備補助 金(平成24年度)	公立大学法 人鳥取環 境大 学	88,711,200	_____	H26.7.22 外	H26.10.10 外	精算	H26.10.22 H26.11.17 H27.1.16 H27.1.30 H27.4.7	3,375,000 2,397,600 17,415,000 10,476,000 10,692,000	
		(補助率:1/2)	H26.5.30外	H26.9.3 外	H26.10.1 外				
鳥取環境大学の施設 整備の支援		44,355,600	H26.6.19外	H26.10.3 外	H26.10.8 外				
本庁執行分計								96,545,681	
出納機関執行分計								0	
単県分計								96,545,681	

(2-2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

## (3) 交付金

(単位:円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担 率	支出年 月日	支出金額	支出の根拠法令名 等 (規約、要領等を 含む)	備 考
計画調査費	418,879,500	単県	26年度公立大学 法人鳥取環境大学 運営費交付金	公立大学法人 鳥取環境大学0	10/1	H26.4.30 H26.7.1 H26.10.3 H27.1.9 H27.3.18	114,500,000 161,500,000 71,000,000 71,005,500 874,000	地方独立行政法 人法第42条	
支出額が10 万円 未満のもの									
本庁執行分 計							418,879,500		
出納機関執行 分計									
目 計							418,879,500		
合 計							418,879,500		

(4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国庫 単 の別	委託料の名称	委託契約 の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	金額	
計画調査費											
予定価格が50 万円未満のE/ 本庁執行分計										48,600	
出納機関 執行分計										48,600	
目計										0	
										48,600	
計画調査費	単 県	とっとりサイエンス ワールド2014開催事 業委託	鳥取県教 学教育会	( H26.6.23 ) 5,320,000	H26.6.23~ H26.12.26	H26.6.10 (免除)	H26.12.24	概算 民入	H26.6.30 H27.3.12	5,320,000 △7,097	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でないけ ば納入できない)
計画調査費	単 県	鳥取県ジュニア郷土 研究大会開催事業委 託	鳥取県地 域社会研 究会	( H26.11.6 ) 565,000	H26.11.6~ H27.2.27	H26.10.29 (免除)	H27.2.27	概算	H26.11.21	565,000	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でないけ ば納入できない)
計画調査費	単 県	「未来につながるもの づくり人材育成事業」 研修業務委託	株式会社 ロボライ ズ	( H26.6.24 ) 1,484,000	H26.6.24~ H26.9.30	H26.6.23 (免除)	H26.8.21	精算	H26.9.11	1,484,000	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でないけ ば納入できない)
計画調査費	単 県	「未来につながるもの づくり人材育成事業」 研修業務委託	株式会社 ロボライ ズ	( H26.4.28 ) 1,324,000	H26.4.28~ H26.5.31	H26.4.25 (免除)	H26.5.31	概算	H26.5.8	1,324,000	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でないけ ば納入できない)
計画調査費	単 県	「未来につながるもの づくり人材育成事業」 研修業務委託	株式会社 ロボライ ズ	( H26.7.17 ) 3,049,999	H26.7.17~ H27.3.16	H26.7.4 (免除)	H27.3.16	概算	H26.8.7	3,049,999	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でないけ ば納入できない)
予定価格が50 万円未満のE/ 本庁執行分計										0	
出納機関 執行分計										11,735,902	
目計										0	
合計										11,735,902	
										11,784,502	

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

予算科目 (目)	国 単 単 の 別	委託料の名称	委託契約 の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	( 契約年月日 ) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
労政総務費	単 単	ものづくり教育のた めのFabLab運営事業 委託業務	ものづく り協力会 議	12,617,000	( H26.2.19 ) 12,617,000	H26.2.19~ H27.3.31	H26.2.18 (免除)	H27.3.31	概算	H26.4.25 H26.10.23	4,631,921 3,230,079	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でない) ば納入できない)
					( )		随	H27.5.14				
労政総務費	単 単	ものづくり教育のた めのFabLab普及事業 委託業務	ものづく り協力会 議	26,496,000	( H27.2.27 ) 26,496,000	H27.2.27~ H28.3.31	H27.2.26 (免除)	-	概算	H27.3.17	3,094,000	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でない) ば納入できない)
					( )		随					
労政総務費	単 単	全国の若者による学 びの場とつとり創生 事業委託業務	株式会社 Foun ding Base	6,000,000	( H27.3.9 ) 6,000,000	H27.3.9~ H28.3.31	H27.3.9 (免除)	-	概算	H27.3.18	583,000	地方自治法施行令第 167条の2第1項第2号 (特定の者でない) ば納入できない)
					( )		随					
予定価格が50 万円未満のモノ											0	
本庁執行分計											11,539,000	
出納機関											0	
執行分計											11,539,000	
目計											11,539,000	
合計											11,539,000	

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利

(平成27年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		本年度末 (数量、金額)	法人名	備考
		増	減			
公立大学法人鳥 取環境大学出資 金	4,168,415,000円			4,168,415,000円	公立大学法人 鳥取環境大学	
鳥取県私学振興 会出資金	40,000,000円			40,000,000円	一般社団法人 鳥取県私学振 興会	
鳥取バイオサイ エンス振興会出 捐金	3,000,000円			3,000,000円	財団法人鳥取 バイオサイエ ンス振興会	
合 計	4,211,415,000円			4,211,415,000円		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券類の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	6,070円	23,466円	16,230円	13,306円	
合 計	6,070円	23,466円	16,230円	13,306円	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
50枚	30枚	51枚 79,260円	28枚

※使用枚数には亡失1枚を含む

## (3) 基金

(平成27年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		増	減		
鳥取県環境学術等研究基金	4,100,383,299円	4,027,770円	0円	4,104,411,069円	
合計	4,100,383,299円	4,027,770円	0円	4,104,411,069円	

## (4) 債権

(平成27年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
			増		減				
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	
貸付金	127,000,000円	1	0円	-	0円	-	127,000,000円	1	
合計	127,000,000円	1	0円	-	0円	-	127,000,000円	1	

## 20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物 該当なし

ア 土地 該当なし

イ 建物 該当なし

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの) 該当なし

- 21 借受不動産明細調べ 該当なし
- 22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 23 自動車 (二輪を除く) の管理状況調べ 該当なし
- 24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 25 備品の処分状況調べ 該当なし
- 26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(平成27年3月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
タクシーチケット	枚 1	円 約3.3	課長補佐 西尾 麻都子	平成26年 6月16日	教育・ 学術振 興課内	6月13日(金)の環境大学前 学長退任式(会場:鳥取駅 前)応援のため、タクシー チケット1枚の交付を受けたが、 出発間際に公用車で帰庁 した当課職員により、公用 車で会場に移動した。 式後の最初の勤務日であ る6月16日(月)に、会議資 料とタクシーチケットを一 緒にしまっていたことを失 念し、会議資料とともに タクシーチケットを誤って 破棄した。	平成26 年7月 14日	故意又は 重大な過 失はない

## (2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
27年1月16日 ~ 27年1月30日	無		





